

TOPPAN

株主通信

Vol.88 December 2018

トッパン・ストーリー

TOPPAN STORY

第173期 第2四半期 平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



4K
PRINTERACTIVE

Meet Japan!

この写真は、高品質4K(Printeractive 4K)から画像を切り出しています。

- 3 株主の皆さまへ
- 6 第2四半期 業績の概況
- 8 第2四半期 連結財務諸表の要旨
- 10 トピックス
- 12 ピックアップニュース
- 14 株式情報
- 15 会社概要

表紙の画像 日本の伝統工芸 織物「久留米絣」(Meet Japan!)より

トッパンは国際観光推進や地域活性化、地域創生を目指し、自社の映像クリエイターが日本各地で撮影したトッパンオリジナル高品質4K映像「Meet Japan!」プロジェクトを展開しています。

日本の伝統工芸をテーマに、今号は織物「久留米絣」の画像をセレクトしました。

久留米絣は福岡県久留米市の伝統工芸で、江戸後期(1800年頃)に、久留米藩の城下に生まれた13歳の少



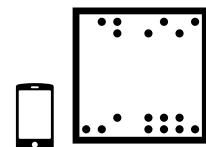
女 井上伝により考案され、昭和32年に国の重要無形文化財に指定されました。

図案づくり、緯糸と経糸の括り、染め、織りなど30以上の高度な技術を経て生まれる久留米絣の重厚な質感をお楽しみください。



撮影協力：福岡県 久留米市

「Meet Japan!」より表紙の映像をぜひ「ARReader」でご覧ください。
スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google Playストア」でアプリ「ARReader」を検索ダウンロード(無料)。「ARReader」を起動し、右記のARマーカールにかざすと表紙に関連する映像がご覧になれます。



ARマーカールにスマートフォンをかざしてみると…

株主の皆さまへ

デジタル時代に対応したビジネスモデルを構築し、持続的な成長を目指してまいります。



代表取締役社長

金子真吾

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第173期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)のトッパングループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

情報媒体のデジタルシフトの影響を受け、印刷業界は厳しい経営環境となりました。

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦の激化などによる海外経済の不確実性の高まりに加え、原油価格の上昇、金融資本市場の変動影響も懸念され、また相次ぐ自然災害による影響もあり、景気の先行きは不透明感が強まりました。

印刷業界におきましては、IT化の進展に伴う情報媒体のデジタルシフトの影響により、ペーパーメディアの需要は減少し、競争激化による単価下落など、依然として厳しい経営環境が続きました。また、企業のESG(Environment, Social, Governance)への取り組みが強化されるなか、サプライチェーン全体でCO₂削減や資源循環など環境負荷の低減を考慮した製品やサービスに対するニーズが高まっています。

トッパングループは4つの成長領域を定め、事業拡大に取り組んでいます。

このような環境のなかでトッパングループは、21世紀の企業像と事業領域を定めた「TOPPAN VISION 21」において、「健康・ライフサイエンス」、「教育・文化交流」、「都市空間・モビリティ」、「エネルギー・食料資源」を4つの成長領域と定め、「可能性をデザインする～未来の価値を見だし、企画・設計して、実現していく～」をコンセプトとして、グループ連携を強化し技術・ノウハウを組み合わせることによりトータルソリューションを実現し、事業拡大に取り組んでおります。また、新たな収益モデルを早期に確立すべく、新規事業においては積極的に経営資源を投入してまいります。一方、既存事業においては技術開発強化やコスト削減など、競争優位性の確立を推進してまいります。

トッパンの事業領域



各事業分野での取り組みについて

情報コミュニケーション事業分野

マーケティング関連では、企業の販促手法が変化するなか、デジタルとアナログを組み合わせたマーケティングの需要に対し、マーケティングオートメーションと連動させたDM自動発送サービスを開発するなど、新たなサービスの創出に努めました。

また、地方創生・観光立国への取り組みの一環として、テキスト翻訳サービスや音声翻訳サービス、VR体験型観光ガイドアプリなど、旅の利便性や質を向上させるソリューションの拡販を進めました。さらに共創拠点「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」をオープンし、産官学との連携により新たなビジネスやプロジェクトの創出を図ってまいります。

コンテンツ関連では、出版市場の低迷が続くなか、

拡大を続ける電子書籍市場において、株式会社Book Liveは、さらなるブランド認知の向上を図るべく、定期的に広告宣伝を実施するなど、顧客基盤を強化しました。

生活・産業事業分野

パッケージ関連では、高齢化や女性の社会進出増加といった社会環境変化やフードロスなどの社会課題に伴い市場のニーズが多様化するなか、パウチの内容物の排出性向上や残留低減を実現した国内初となる撥液機能を有した食品向けレトルトパウチを開発するなど、競争力の強化に向けて新製品の開発に注力しました。

建材関連では、世界最高水準の耐傷性や耐汚染性を実現する「Smart NANO」技術を活用し、従来の床材に加え、新たに建具用化粧シートへ展開するなど、製品のラインアップを拡充しました。

生活・産業事業分野においては、原材料価格の高騰の影響を受けましたが、原価削減や事業環境の変化に応じた構造改革による収益体質の強化を行うとともに、成長戦略を着実に実行してまいります。

エレクトロニクス事業分野

半導体関連では、AIやIoT需要の高まりを受け、半導体市場が拡大するなか、フォトマスクは旺盛な先端品需要を取り込み、また高密度半導体パッケージ基板のFC-BGA基板は、海外向けの高付加価値品の需要を取り込みました。

2019年3月期第2四半期連結累計期間の実績

これらの外部環境や取り組みをふまえ、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ0.9%減の6,982億円となりました。また、営業利益は27.1%減の107億円となり、経常利益は21.2%減の137億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は47.6%減の82億円となりました。

中間配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。なお当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しました。1株当たり期末配当金につきましては、株式併合を考慮した20円を予定しております。

デジタル時代の到来によりあらゆる市場構造が変化し、既存のバリューチェーンが急激に変化しつつあるなか、トッパングループは新たな時代に対応したビジネスモデルの構築に早急に取り組み、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績の概況

科目	当第2四半期	前第2四半期	対前年同期比
売上高	6,982億円	7,043億円	0.9%減
営業利益	107億円	147億円	27.1%減
経常利益	137億円	173億円	21.2%減
親会社株主に帰属する当期純利益	82億円	156億円	47.6%減

日本経済の動向

日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦の激化などによる海外経済の不確実性の高まりに加え、原油価格の上昇など景気の先行きは不透明感が強まりました。

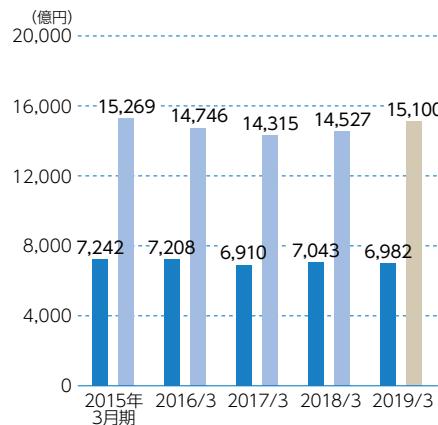
印刷業界を取りまく環境

ペーパーメディアの需要減など、依然として厳しい経営環境が続きました。また、環境負荷の低減を考慮した製品やサービスに対するニーズが高まっています。

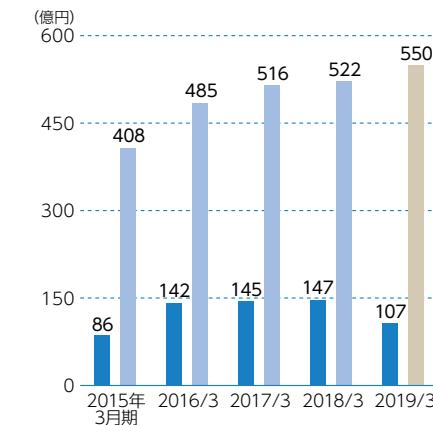
トップグループの取り組み

グループ連携を強化し技術・ノウハウを組み合わせることによりトータルソリューションを実現し、事業拡大を目指しています。新たな収益モデルを早期確立すべく、新規事業の取り組みでは、積極的に経営資源を投入しています。既存事業においては技術開発強化やコスト削減など競争優位性の確立を推進しています。

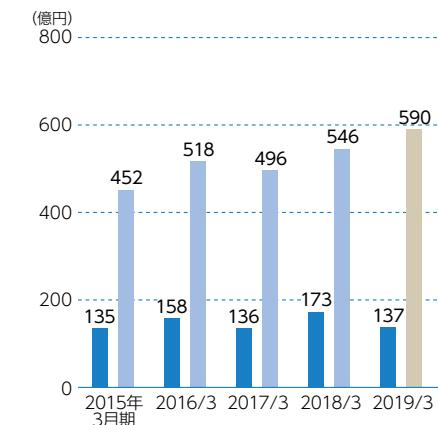
売上高



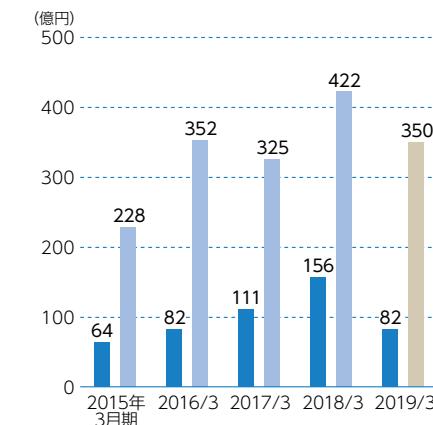
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想

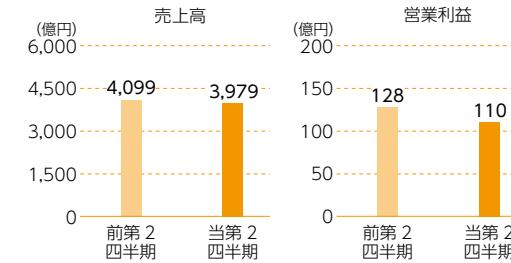
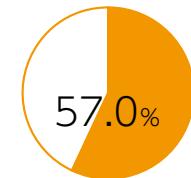
セグメント別概況

情報コミュニケーション事業分野

売上高 3,979 億円*1
(対前年同期比2.9%減)

営業利益 110 億円*2
(対前年同期比13.9%減)

売上構成比



ICカード

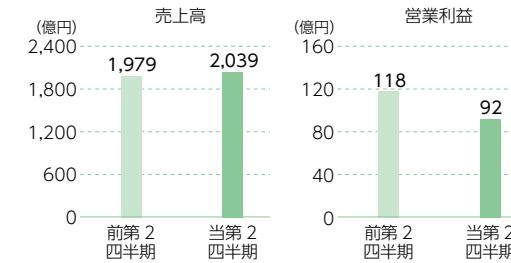
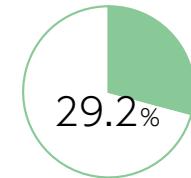
ICカードが好調に推移したほか、企業販促手法が変化するなか、デジタルとアナログを組み合わせたマーケティングの需要に対し、新たなサービスの創出に努めましたが、POPのほか、一般証券物や雑誌など紙媒体が減少し、減収減益となりました。

生活・産業事業分野

売上高 2,039 億円*1
(対前年同期比3.0%増)

営業利益 92 億円*2
(対前年同期比21.8%減)

売上構成比



内装用化粧シート

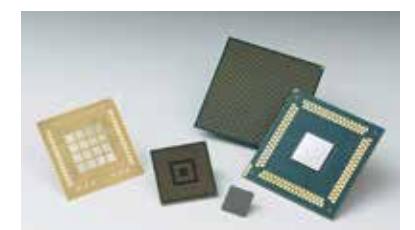
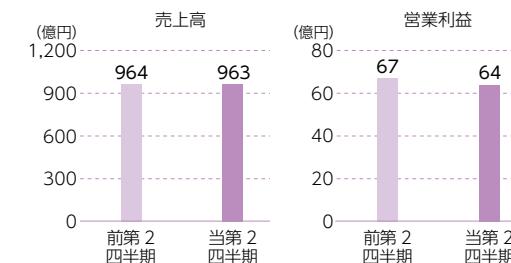
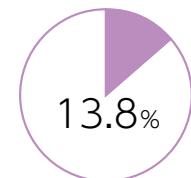
インドネシアの軟包装事業会社を子会社化した影響や高付加価値包装材の増加に加え、国内化粧シートの拡大やスペインの建装材印刷メーカーとの統合効果がある一方、全体で原材料価格の高騰影響などを受け、増収減益となりました。

エレクトロニクス事業分野

売上高 963 億円*1
(対前年同期比0.1%減)

営業利益 64 億円*2
(対前年同期比4.8%減)

売上構成比



FC-BGA基盤

半導体市場が拡大するなか旺盛な先端品需要を取り込んだフォトマスクが好調に推移したほか、高密度半導体パッケージ基板のFC-BGA基板や反射防止フィルムが前年を上回りましたが、カラーフィルタの減少やTFT液晶パネルが低調に推移し、減収減益となりました。

*1 外部顧客への売上高 *2 全社費用調整前の数値で計算しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	(2018年3月31日現在)	(2018年9月30日現在)
流動資産	843,083	807,516
現金及び預金	241,491	230,687
受取手形及び売掛金	399,047	373,868
有価証券	75,903	75,250
商品及び製品	39,249	40,070
仕掛品	32,633	37,624
原材料及び貯蔵品	22,541	24,298
その他	34,488	27,833
貸倒引当金	△2,271	△2,116
固定資産	1,304,848	1,467,411
有形固定資産	555,649	548,518
建物及び構築物	227,787	221,805
機械装置及び運搬具	132,364	124,698
土地	155,497	153,635
建設仮勘定	27,479	36,299
その他	12,520	12,080
無形固定資産	35,625	34,587
その他	35,625	34,587
投資その他の資産	713,572	884,305
投資有価証券	620,015	789,061
その他	94,594	96,109
貸倒引当金	△1,036	△866
資産合計	2,147,932	2,274,927

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(単位:百万円)

負債の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	(2018年3月31日現在)	(2018年9月30日現在)
流動負債	409,020	381,562
支払手形及び買掛金	267,908	255,322
短期借入金	10,224	14,047
1年内返済予定の長期借入金	2,730	2,108
未払法人税等	7,542	6,212
賞与引当金	20,491	18,809
その他の引当金	2,167	2,048
その他	97,955	83,014
固定負債	435,236	481,379
社債	120,000	120,000
新株予約権付社債	40,000	40,000
長期借入金	83,450	80,387
退職給付に係る負債	50,990	50,995
その他の引当金	2,027	2,007
その他	138,767	187,988
負債合計	844,257	862,942

純資産の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
株主資本	842,331	845,591
資本金	104,986	104,986
資本剰余金	118,405	120,023
利益剰余金	672,843	674,502
自己株式	△53,903	△53,920
その他の包括利益累計額	294,143	396,492
その他有価証券評価差額金	285,308	391,009
繰延ヘッジ損益	△124	△240
為替換算調整勘定	1,380	459
退職給付に係る調整累計額	7,579	5,263
非支配株主持分	167,199	169,900
純資産合計	1,303,674	1,411,985
負債純資産合計	2,147,932	2,274,927

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	(2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	704,374	698,233
売上原価	576,099	575,915
売上総利益	128,275	122,317
販売費及び一般管理費	113,504	111,554
営業利益	14,770	10,763
営業外収益	7,240	6,625
受取利息及び配当金	4,745	3,819
持分法による投資利益	1,224	809
為替差益	—	542
その他	1,270	1,454
営業外費用	4,627	3,683
支払利息	1,217	1,505
為替差損	443	—
その他	2,966	2,177
経常利益	17,383	13,706
特別利益	7,012	3,710
固定資産売却益	2,978	276
投資有価証券売却益	3,846	3,177
関係会社株式売却益	—	256
その他	187	—
特別損失	1,927	3,074
固定資産除売却損	764	272
投資有価証券売却損	3	10
投資有価証券評価損	83	1,951
減損損失	1,008	392
関係会社特別退職金	66	123
災害による損失	—	167
関係会社株式売却損	—	155
税金等調整前四半期純利益	22,468	14,342
法人税、住民税及び事業税	7,109	5,379
法人税等調整額	△2,174	1,275
四半期純利益	17,533	7,687
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,851	△535
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,681	8,223

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	(2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
四半期純利益	17,533	7,687
その他の包括利益	54,049	106,838
その他有価証券評価差額金	53,560	110,815
繰延ヘッジ損益	117	△116
為替換算調整勘定	△1,308	△1,584
退職給付に係る調整額	201	△2,335
持分法適用会社に対する持分相当額	1,478	59
四半期包括利益	71,582	114,525

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	(2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,859	37,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,999	△41,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	251	△6,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,572	△1,009
現金及び現金同等物の増減額	△18,460	△11,075
現金及び現金同等物の期首残高	295,126	273,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,665	262,258

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

1株当たり株主配当金(中間期)

10円

中間配当金につきましては、1株につき10円とし、期末は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株へ併合したことに伴い、1株につき20円の配当を予定しています。株式併合を考慮しない場合の1株当たり年間配当金は20円00銭となります。

トピックス

「TOKYO PACK 2018 –2018東京国際包装展–」に出展 トッパンが描くパッケージの未来像を最新の開発製品とともに紹介

展示会テーマ

「考えよう 地球をまもるパッケージ」

当社は、10月2日(火)～5日(金)に東京ビッグサイト東ホールで開催された「TOKYO PACK 2018 –2018東京国際包装展–」(以下 2018東京国際包装展)に出展しました。

国内最大の国際総合包装展であるこの展示会は、あらゆる業界で利用される包装資材、包装機械を中心に、調達から生産、流通、販売、消費、廃棄・回収に至る包装のすべてを網羅しています。27回目となる今回は「考えよう 地球をまもるパッケージ」というテーマのもと、国内の包装関連企業・団体が一堂に会し開催され、来場登録者数は6万人を超えました。



トッパンの出展ブース

トッパンは「作る、使う、還す」の サイクルを軸に、4つのテーマで展示

当社は、今回の2018東京国際包装展で「作る、使う、還す」のサイクルを軸に、大きく4つのテーマで展示を行いました。展示テーマはそれぞれ、労働人口減少に向けてIoTやAIを活用した「パッケージングソリューション」、多様化するライフスタイルに対応する「パッケージエクスペリエンス」、最新のテクノロジーを付加して新たな役割を果たす「スマートパッケージ」、そして持続可能な社会に貢献する「サステナブルパッケージ」です。トッパンが描くパッケージの未来像を、最新の開発製品とともに紹介しました。

パッケージングソリューション

労働人口減少に伴う省人化・自動化ニーズに対する、IoTやAIを活用した次世代ものづくりソリューション

パッケージエクスペリエンス

多様化するライフスタイルに向けた、ストレスフリーな体験を提供するパッケージ

作る

還す

使う

展示製品例(サステナブルパッケージ)

透明蒸着バリアフィルム「GL-LP」



GL-LP(ジーエルエルピー)

当社は、世界トップシェアの透明蒸着バリアフィルムブランドの「GL BARRIER」をシリーズ展開しています。本シリーズの一つ「GL FILM」において日本で初めて開発したのが、優れた酸素バリア性と水蒸気バリア

性を有すると同時に高湿度下でもバリア性能を保持できるOPP(二軸延伸ポリプロピレン)フィルム「GL-LP(ジーエルエルピー)」です。

本製品は、内容物の鮮度を保持しやすく、フードロス削減にも寄与します。また、OPP基材を使用した本製品と組み合わせることで、リサイクルに適した単一素材で構成する「モノマテリアル化」への対応が可能となり、環境負荷低減にも貢献します。

サステナブルパッケージ

国際的な環境意識の高まりに対し、持続可能な社会に貢献するパッケージ

活かす

スマートパッケージ

サプライチェーンの高度化を見据え、最新のテクノロジーを付加したパッケージの新たな役割

複合技術で環境負荷を大幅に低減する包材

当社は、水性印刷と無溶剤ラミネーションの技術を組み合わせ、環境負荷を大幅に低減する環境配慮型包材を開発しました。従来の油性印刷で有機溶剤を含むドライラミネーション方式の製品と比較してCO₂排出量を約20%以上、VOC(揮発性有機化合物)使用量を約80%以上、それぞれ削減しました。

本製品は、食品業界にとどまらず、医療・医薬品などの高機能性や環境適性が求められる業界にも展開を進めていきます。



レトルト食品のほか、医療・医薬品などにも展開

今後も持続可能な社会に貢献する 新たな製品・サービスを開発・提供

国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に象徴される企業規模、国家規模で加速する環境への取り組み、IoTに代表されるテクノロジーの進化など、わたしたちを取り巻く社会環境は、日々変化しつづけています。そうしたなかで当社は、お客さまと新しい価値を共創すべく、新たな製品・サービスの開発と提供に全力で取り組んでいきます。

DJSI World Indexに2年連続で選定 世界的に権威のある社会的責任投資(SRI)指標の構成銘柄に選定

当社は、世界的に権威のある社会的責任投資*指標である「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) World Index」(以下、DJSI World)の構成銘柄に2年連続で選定されました。

DJSI World は、経済・環境・社会の3つの側面から企業活動を分析し、サステナビリティ(持続可能性)に優れた企業を銘柄として選定しています。2018年度は調査対象として選ばれた、世界大手企業約3,400社から317社(うち日本企業34社)が選定されており、今回、当社は所属する「Commercial & Professional Services」分野において、日本企業で

は唯一の選出となりました。

当社は、今後もステークホルダーとともに、社会的価値創造企業になることを目指し、サステナビリティ活動を推進、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。(2018年9月14日発表)



※社会的責任投資 SRI (Socially Responsible Investment):
企業の財務分析に加えて、サステナビリティの取り組みを評価に取り入れた投資手法

訪日外国人向けの文化体験観光事業に参入

当社は、トッパングループで旅行事業を展開する株式会社トッパントラベルサービス(本社:東京都港区、以下トッパントラベル)と共同で、訪日外国人向けに日本の伝統文化を体験できるツアープログラム「Profound Tourism(プロファウンド ツーリズム)〜心を感じる文化の旅〜」(以下 Profound Tourism)の販売を開始しました。本プログラムは、リアルとバーチャルを組み合わせ、日本の伝統文化に宿る精神性を文化体験としてツアー形式で提供するものです。

当社とトッパントラベルは本プログラムをグローバル企業や官公庁、海外の旅行代理店などに拡販、2021年に約30億円の売上を目指します。また、本事業

業を通じ、日本の伝統文化の魅力を観光コンテンツとして国内外に発信するとともに、文化財の保存・活用を支援する活動を通じ、日本の観光立国の実現や地方創生の活性化に貢献していきます。

(2018年9月20日発表)



文化観光プログラム「Profound Tourism〜心を感じる文化の旅〜」イメージ

当社と富士通エフ・アイ・ピー、セイコーマートに電子マネーを提供

当社と富士通エフ・アイ・ピー株式会社(本社:東京都港区、以下 富士通エフ・アイ・ピー)は、株式会社セイコーマート(本部:北海道札幌市、以下 セイコーマート)が運営するコンビニエンスストア全店舗で利用できるプリペイド機能付きポイントカード「ペコマカード」に搭載されるハウス電子マネー(自社ブランドのみで利用できる電子マネー)「ペコママネー」に向け、コンビニエンスストア業態で初めて「サーバ管理型プリペイドASPサービス」*を提供します。

本サービスの豊富な導入実績と、大量の取引データを処理しながら安定したサービスを維持できる高いシステム信頼性を有することが評価され採用され

ました。また、すでにサービス提供しているスマートフォンアプリと連動して、カードレスのバーコード支払を実現し、あわせてポイント会員のデータと決済を組み合わせたCRMへの展開も期待できます。

今後は、本サービスの機能強化と新規サービス開発を進め、全国の流通・サービス業を中心に販売を推進していきます。

(2018年10月1日発表)

※サーバ管理型プリペイドASPサービス:
当社と富士通エフ・アイ・ピーが共同で運営するギフトカードやハウス電子マネーの残高管理を行うリアルタイムプロセッシングサービス



株主優待カレンダーについて

当社では、**2018年3月末の時点で1単元株(1,000株)以上**をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は高山辰雄画伯の名作で構成したカレンダーをお届けいたします。カレンダーは、12月上旬頃までにお手元に届くように発送の予定です。12月中旬を過ぎても届かない場合には、下記の電話番号までお問い合わせください。なお、土・日・祝日および年末年始(12/29~1/3)は電話受付をお休みとさせていただきます。

電話番号: 048-483-8500

受付期間: 2019年1月25日(金)まで

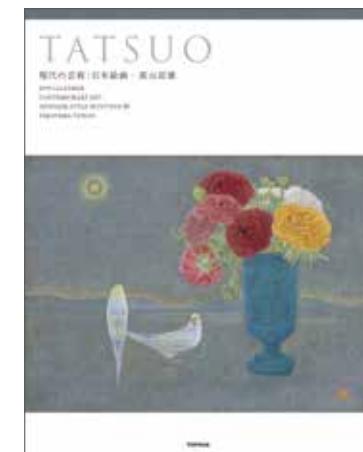
受付時間: 9:00~17:00(月~金)

※土・日・祝日および年末年始(12/29~1/3)は除く。

※メールでのお問い合わせは受け付けておりませんので上記の専用ダイヤルをご利用ください。

お知らせ

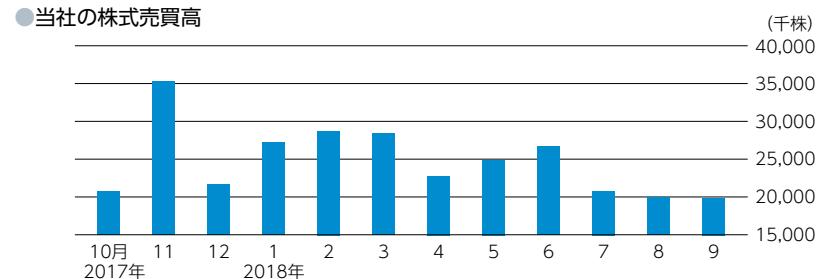
2018年10月1日の単元株式数の変更および株式併合の実施に伴い、2019年3月末の基準日より、5単元株(500株)以上お持ちの株主さまが対象となります。



2019年版株主優待カレンダー
(デザインは変更になる場合があります。)

株式情報 (2018年9月30日現在)

株価および売買高の推移



※当社は、2018年10月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、2株を1株とする株式併合を行っております。株価および出来高については、株式併合後を基準に記載しております。

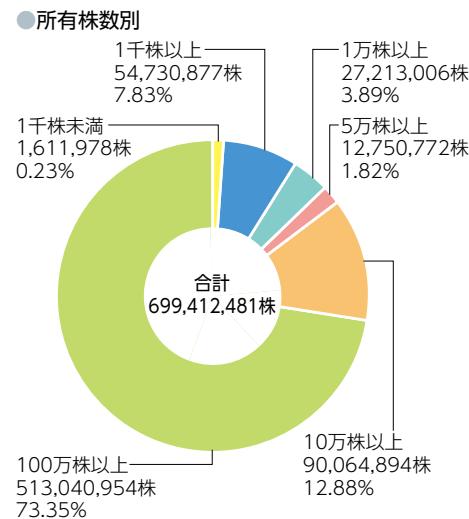
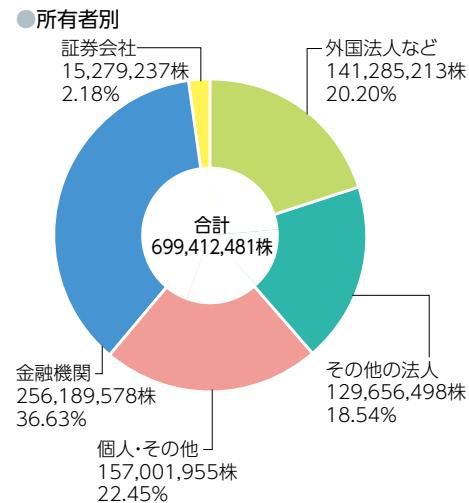
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	48,582	7.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	34,264	5.29
日本生命保険相互会社	30,004	4.63
第一生命保険株式会社	18,309	2.83
東洋インキSCホールディングス株式会社	17,132	2.64
従業員持株会	13,596	2.10
株式会社講談社	13,327	2.06
株式会社三井住友銀行	12,503	1.93
株式会社三菱UFJ銀行	12,503	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	11,005	1.70

※自己株式は、上記大株主から除外しております。

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

株式分布状況



※自己株式51,524千株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「100万株以上」に含まれております。

会社概要

会社概要 (2018年9月30日現在)

- 社名 凸版印刷株式会社
- 本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 電話:03-3835-5111(代表) URL:https://www.toppan.co.jp/
- 会社設立 明治33年1月17日
- 株式会社に組織変更 明治41年6月4日
- 資本金 104,986,430,314円
- 従業員数 単体 10,205名、連結 51,715名

事業所 (2018年9月30日現在)

- 本社および事業(本)部 本店/本社事務所/情報コミュニケーション事業本部/生活・産業事業本部/エレクトロニクス事業本部/西日本事業本部/中部事業部/東日本事業本部
- 研究所 総合研究所
- 工場 札幌、千歳、仙台、群馬、川口、深谷、朝霞、坂戸、幸手、嵐山、柏、板橋、相模原、新潟、三ヶ日、名古屋、三重、松阪、滋賀、滝野、福岡、熊本 など ※上記工場は、当社の主要な製造子会社を含んでおります。
- 営業所 帯広、札幌、函館、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、高崎、さいたま、千葉、東京、横浜、新潟、金沢、長野、松本、静岡、浜松、名古屋、松阪、京都、大阪、和歌山、神戸、松江、岡山、福山、広島、周南、高松、松山、高知、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇
- 海外(現地法人含む) ジョージア、ニューヨーク、サンタクララ、ラウンドロック、デュッセルドルフ、アテネ、シンガポール、北京、上海、香港、台北、バンコク、ジャカルタ、ブルガオン など

取締役および監査役 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長	足立直樹	取締役役員	山野泰彦
代表取締役社長	金子真吾	取締役役員	植木哲朗
代表取締役役員	磨秀晴	取締役役員	山中紀夫
取締役役員	前田幸夫	取締役役員	中尾光宏
取締役役員	大久保伸一	取締役役員	黒部隆
取締役役員	伊東厚	社外取締役	佐久間國雄
取締役役員	新井誠	社外取締役	野間省伸
取締役役員	松田直行	社外取締役	遠山亮子
取締役役員	江崎純生	常任監査役	高宮城實明
取締役役員	佐藤暢晃	監査役	田上静之
取締役役員	伊沢太郎	社外監査役	重松博之
		社外監査役	垣内恵子
		社外監査役	笠間治雄

執行役員 (取締役兼務者を除く) (2018年6月28日現在)

常務執行役員

小谷友一郎	岩瀬浩	佐藤友治	坂井和則	野口晴彦
齋藤昌典	小町千治			

執行役員

萩原恒昭	好川英郎	深田克彦	小佐見茂	鬼塚信行
鎌仲宏治	大谷智	吉本晋二	池田隆夫	穴水芳光
山中欣也	真島宏徳	田中秀武	山口拓哉	谷山和昭
萩原正敏	長澤智司	立脇雅彦	二ノ宮照雄	菊地保貴

株主優待カレンダー発送に関するお問い合わせ

受付期間 2019年1月25日(金)まで

受付時間 9:00~17:00(月~金)

※土・日・祝日および年末年始(12/29~1/3)は除く

※メールでのお問い合わせは受け付けておりませんので下記の専用ダイヤルをご利用ください。

TEL:048-483-8500

凸版印刷は、東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。



TOPPAN



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

株主メモ

■事業年度 4月1日~翌年3月31日

■定時株主総会 毎年6月

■株主確定基準日

定時株主総会・期末配当 3月31日/中間配当を行う場合 9月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。

■株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

問い合わせ先 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

■1単元の株式の数 100株

■公告の方法

電子公告により当社ホームページ(<https://www.toppan.co.jp/>)に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、公告に掲載いたします。

■上場金融商品取引所 東京証券取引所

■証券コード 7911

〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

〈ご案内〉

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率については平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%の源泉徴収税率が適用されます。
※所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては、本ご案内の内容が当てはまらない可能性もあります。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にご相談ください。
2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

凸版印刷株式会社

本店 〒110-8560 東京都台東区台東一丁目5番1号
本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL:03-3835-5111(代表)

URL: <https://www.toppan.co.jp/>



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1冊あたり
<https://www.cip-japan.jp>
CR-8505-18012



トッパングループの
(株)オルグスタックロジックが削減した
J-VECOクレジットを利用して
ライフサイクル全体の
カーボンオフセットをしました。